



旭川 転出超過全道一

管内 転入超は東川のみ

昨年人口移動

総務省が公表した2019年の人口移動報告で、転出者数が転入者数を上回る「転出超過」が、旭川市で初めて千人を超え、道内で最も多かった。上川管内23市町村のうち、**A**を除く22市町村でも転出超過となり、札幌や首都圏への流出がより顕著となった。

(小林史明)

子育て支援策充実課題

19年は道内179市町村のうち、転出超過が165市町村に上った。管内では

- 多い順に、①旭川市104人
- ②士別市227人
- ③愛別町224人
- ④富良野市200人
- ⑤名寄市165人

など。旭川市の転出超過は道内最多で、函館市(923人)、釧路市(792人)と続く。旭川市は医療機関や福祉

上川管内23市町村の転入・転出者数 (2019年)

	転入者数	転出者数	転入-転出
旭川市	10,031	11,077	▲1,046
士別市	487	714	▲227
名寄市	1,285	1,450	▲165
富良野市	905	1,105	▲200
鷹栖町	197	228	▲31
東神楽町	359	392	▲33
当麻町	172	189	▲17
比布町	99	104	▲5
愛別町	49	273	▲224
上川町	179	215	▲36
東川町	431	428	3
美瑛町	351	371	▲20
上富良野町	578	663	▲85
中富良野町	135	171	▲36
南富良野町	114	161	▲47
占冠村	310	382	▲72
和寒町	69	110	▲41
剣淵町	78	119	▲41
下川町	134	148	▲14
美深町	185	265	▲80
音威子府村	89	121	▲32
中川町	61	75	▲14
幌加内町	39	82	▲43

※▲はマイナス

人口移動報告 住民票を編成した住民基本台帳に基づき、日本国内の自治体間の転入者数、転出者数を集計した統計。外国人も含む。

総務省が1年間の結果を毎年1月末に発表する。2010年からは市区町村ごとに統計を取り、同省ホームページでも公表している。

施設が多いため、65歳以上は225人の転入超過で全国18位の多さ。その半面、生産年齢人口の15〜64歳は1242人の転出超過となった。東日本大震災の避難者で1577人の転入超過だった11年を除き、毎年200〜800人ほどの転出超過が続いている。

出超過となったのは愛別町。町によると近年、町内の施設で研修を終えた外国人技能実習生が町外へ出ていくため、町内に働き口や民間賃貸住宅がないのが要因という。町は空き家の改修費を半額まで補助する制度を15年度に設けており、前仏秀幸町長は「住環境を整えつつ、新しいアイデアも考えたい」と話す。

市総合政策部は「進学や就職で札幌へ出る傾向は変わらず、雇用環境の整備が欠かせない」と分析する。新年度予算案に若者の就労支援や企業誘致の事業費を盛り込んだが、決め手には欠ける状況。昨年発足した旭川移住促進協議会は、「お試し就労」を組み込んだ移住体験ツアーを実施しており、事務局の地域振興部は「お試し就労の協力企業を増やすことで、三大都市圏から人を呼び込みたい」と望みをかける。

18年に転入超過だった当麻町、比布町、下川町の3町は19年に転出超過に転じた。

Aは統計を取り始めた10年から10年連続の転入超過だが、3人だけと過去最少に。宅地造成してきた中心部への移住が落ち着いたため、町定住促進課は「現在は農村部で宅地造成しており、子育て世帯を呼んでコミュニティーを維持したい」と話す。



年 組 名前

道新で ワークシート

① には同じ町名が入ります。記事の中から探して書きなさい。

②記事から読み取ったこととして適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 北海道の市町村の大部分は、転出超過である。
- イ 旭川市では、65歳以上の転入者が転出者よりも多い。
- ウ 愛別町は外国人技能実習生が町外に出ていく要因を特定できていない。
- エ 18年に転出超過だった当麻町、比布町、下川町は19年に転入超過になった。